



めざす学校像・めざす児童像

白水台地の陽光「さん」

先週、学校教育目標について紹介しましたが、今回は「めざす学校像」「めざす児童像」について紹介します。

全校児童は86名ですが、一人一人色々な思いを持っていますし、感じ方や考え方も一人一人違います。そんな子どもたちに、学校でも家庭でも、大人が最高の愛情を注ぎながら、また子どもたち同士がお互いのことをよく理解し合いながら自らの力を最大限に発揮できるようにしていきたいと考え、次のように設定しました。

「めざす学校像」

- 児童
「今日も楽しかった」「明日も行きたい」
- 保護者
「通わせてよかった」「関わってよかった」
- 地域
「応援してよかった」「あつてよかった」
- 職員
「勤めて良かった」「充実した仕事できた」

「めざす児童像」

〈校訓〉

(やさしく)

自他の思いや気持ちを大切にし、自ら手をさしのべることができる子

(かしこく)

自ら進んで課題に取り組み、学び続けることができる子

(たくましく)

自他の生命を大切にし、健康や安全に気をつけて生き抜くことができる子



[地域の方々の協力により、体験的な学習ができています。また、学校の周りがきれいになっています!]

[きれいになった学校の坂]

地域の敬老会の皆さんが中心になって、学校の坂の下のそうじや、側面の草取りをしてくださいました。きれいになった環境の中で、さらに子どもたちの笑顔がたくさんみられるように頑張っています。

ありがとうございます!
ありがとうございました!



[5年生: 田植え体験]

毎年お世話になっている西岡さんの田んぼで、田植えの体験をしました。本年度は、コロナウイルス感染症予防のために、「投げ苗」での体験をしました。その後、米作りについての苦労や楽しみについての貴重な話を聞くことができました。



